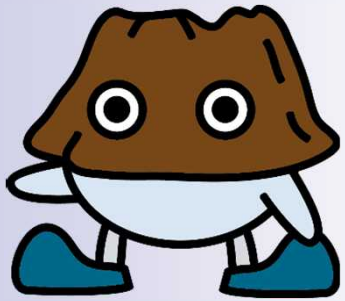
資料5-1

仙台管区気象台
Sendai District Meteorological Observatory

吾妻山噴火警戒レベル判定基準の改定について（情報共有）



気象庁火山防災
マスコットキャラクター
「ぼるけん」

仙台管区気象台

【吾妻山】噴火警戒レベル判定基準の改定について

新たなデータ・知見を取り入れることで吾妻山の**火山活動評価の高度化**を行い、噴火警戒レベルの判定基準の見直しを実施

- 吾妻山は、東北地方の活火山の中で相対的に火山活動が高い
- 2015年から火山ガス・全磁力の連続観測を開始

現行の判定基準を設定した後に蓄積されたデータ及び火山現象に関する新たな知見（研究結果）を用いることで火山活動評価の高度化を行い、その結果を新たに判定基準に取り入れた。

- 火山性地震、地殻変動において定量的な指標を新たに導入することで**客観性が向上**
- 火山ガス及び全磁力データを新たに噴火警戒レベルの判断に利用可能
- 火山性微動は、流体の動きに直結するイベントを判別し、傾斜変動を伴うものを基準とする

【吾妻山】噴火警戒レベル判定基準の主な改定点

改定基準案（レベル２）	現行基準（レベル２）
【火口周辺（火口から概ね1.5km以内）に影響を及ぼす噴火が発生】 〇次の現象が観測された場合 ・大きな噴石が火口から概ね1.5km以内に飛散する噴火 **・＜視界不良時＞火山性地震や火山性微動、空振の発生状況から規模の小さい噴火と判断される場合**	【火口周辺（火口から概ね1.5km以内）に影響を及ぼす噴火が発生】 〇次の現象が観測された場合 ・大きな噴石が火口から概ね1.5km以内に飛散する噴火
【火口周辺（火口から概ね1.5km以内）に影響を及ぼす噴火の可能性】 ○次の現象が複数項目観測された場合 （現象が顕著な場合は、単独の現象でも引き上げることがある） ・火山性地震が増加（100回以上／24時間）、または火口付近浅部を震源とする**規模の大きい火山性地震**が複数回発生 ・低周波地震が増加（前30日の総数40回以上） **・傾斜変動（浄土平傾斜計の東西成分で火口方向（西）上がりに0.1μrad以上の変化）を伴う火山性微動の発生** ・山体膨張を示す**明瞭な地殻変動** **・熱活動の活発化**	【火口周辺（火口から概ね1.5km以内）に影響を及ぼす噴火の可能性】 ○次の現象が複数項目観測された場合 （現象が顕著な場合は、単独の現象でも引き上げることがある） ・火山性地震が増加（100回以上／24時間）、または火口付近浅部を震源とする**規模の大きい火山性地震**が複数回発生 ・低周波地震が増加（前30日の総数40回以上） **・火山性微動（微小なものを除く）の発生** ・山体膨張を示す**明瞭な地殻変動** **・活発な噴気活動（高さ300m以上を連日観測）、地熱域の拡大、顕著な地温の上昇など熱活動の活発化**

定量的な目安を設定
判定基準の解説に追記

火山ガス・全磁力も参考
判定基準の解説に追記